

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人 自立の里 放課後等デイサービス だいち		
○保護者評価実施期間	令和7年3月1日		～ 令和7年3月22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数) 15名
○従業者評価実施期間	令和7年3月1日		～ 令和7年3月22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月31日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児の日頃の状況を保護者へ伝え共有することを日常的に取り組むことが出来てくる。	送迎時に保護者との引継ぎの時間の確保を心掛けたり、LINEを活用して画像や動画にて状況を分かりやすく伝えることが出来るようにしている。	今後も取り組みを継続していきながら、タイムリーに伝えることが出来るように体制を整えていく。
2	各利用児の体調や特性に応じた支援を実施し、落ち着いた利用を行うことで、保護者から安心感を持って利用して頂けている。	各スタッフが専門性を持って各利用児の対応を行い、サービス時に気付いたことや聞きたいことに関して、早々に何うようにしており、支援に繋げている。	学校やリハビリ施設など、関係機関との連携を図りより適切な支援の実施を目指していく。
3	季節感のある制作活動やイベントへの参加を楽しむことができています。	春は桜や夏は海をイメージした制作活動を実施し、クリスマスやハロウィンなどのイベントでは全利用児が楽しめるように工夫して企画し、その様子を家庭でも振り返ることができるように写真等で共有している。	今後も取り組みを継続していき、新たな楽しみ方を見つけることができるよう情報収集をし支援に反映させる。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会の開催など保護者同士のつながりが持てていない。	コロナ禍以降、交流することを目的としてイベントの開催を積極的に実施する方針でなかった。	保護者の意見を確認したうえで、要望に応える形で場をセッティングすることを検討していく。
2	法人以外の交流の場が少なく、地域の方や他施設の児童同士の関わる場を設けることができていない。	事業所が、他施設との接点を持つことができていない。	地域のイベントや交流の機会を探し、参加を検討する。また、担当者会議等の機会にて他事業所との関係を持ち、交流を持ちかける。
3	放課後等デイサービスガイドラインや各種マニュアルについて周知することができていない。	情報量が多く、伝える機会を設けることができていない。	モニタリング時に施設に来所した際に提示したり、ホームページへの掲載など周知の方法を改めて検討し、取り組みやす方法を実施していく。